

東京病院ニュース

増刊号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~tokyo/>

就任のご挨拶



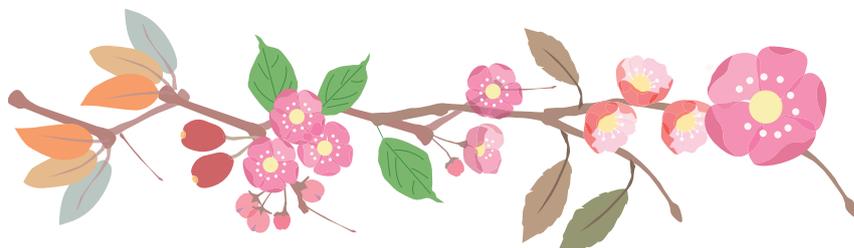
副院長 田村 厚久

この度、副院長を拝命いたしました。ちょうど2年前に統括診療部長を拝命した際、東京病院ニュースに「COVID-19 への対応と同時に、地域医療や COVID-19 以外への診療の維持にも注力していきたい」と挨拶いたしました。驚いたことに2年経った今現在でも挨拶の主要部分には変更がありません。COVID-19 はまだ油断ができない状況です。とはいえ、この2年間で皆様同様、私共もたくさんの経験を積み、多くの知恵も会得してきました。その財産も活用しつつ、信頼される地域の病院として、そして呼吸器疾患を始め、様々な領域の疾患への高度診療機能を有する病院として、患者さんや連携施設の皆様のご期待に添えるよう、努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



統括診療部長 瀬口 健至

4月1日付で統括診療部長を拝命いたしました。東京病院に赴任して8年目、以前勤務した西埼玉中央病院も含めて、国立病院機構勤務は計14年目になります。今まで泌尿器科医長としてひたすら臨床に励んで参りましたが、診療に関するあらゆる方面に渡って目配りをする立場となりました。新米幹部ですが、その職責を全う出来るよう努力いたします。COVID-19 に対応しつつ、一般診療を維持することが当院には求められています。患者さん・ご家族、地域医療機関の先生方から、安心して積極的に選んでいただける病院となるよう、スタッフ一同取り組んで参ります。今後とも、よろしくお願申し上げます。



**外来診療部長 小宮 正**

4月より外来診療部長に就任いたしました小宮 正です。個人的には2014年度から脳神経内科および物忘れ外来で診療しており、まったくの新人というわけではありませんが、これまで同様にお付き合いいただければと思います。コロナ禍となって久しく、外来診療にも影響が少なからずあり、外来診療へのアクセスや、待合のスペースの問題などで大変ご迷惑をおかけしています。なんといっても外来は病院の顔であり、いろいろな症状にお悩みの患者様の一助となるよう、少しずつでも改善するよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

**脳神経内科医長 石津 暢隆**

この度、脳神経内科医長を拝命致しました。過去を省みますと、神経難病に対峙する度に後悔と反省の連続であったように思います。我が人生に悔いなしなどと虚勢を張ることなどとても出来ません。ある著名な作家が後悔を否定しない生き方について語っていますが、なるほどそれでなんとなく心の荷が降りるような気がしている今日この頃です。重責を担うにあたり、長くお付き合いすることの多い難病の患者さんに対して最新の医療はもちろん、心の荷を軽くできるよう緩和ケア的な要素も取り入れた医療を心がけたいと考えています。また当科は様々な職種との連携やご協力によって支えられています。感謝と共にこれからもよろしくお願い申し上げます。

**呼吸器外科医師 四元 拓真**

4月1日付で東京病院呼吸器外科に赴任致しました四元拓真です。過去に2018年3月末まで1年間お世話になり、今回再赴任させて頂いた形となります。大学院にて研究に丸2年間従事したのち、JR東京総合病院、虎の門病院で計2年間勤務した後に戻って参りました。東京病院にてさらに手術の鍛錬を重ねたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

**消化器外科医師 五十嵐 裕一**

4月より消化器外科に赴任いたしました五十嵐裕一です。帝京大学上部消化管外科に入局、大学院卒業後、帝京大学溝口病院、国立国際医療研究センター国府台病院を経て、本年度東京病院に赴任しました。東京病院の一員として貢献できるよう努力して参りますのでよろしくお願い致します。お気軽にお声がけいただければ幸いです。

リハビリテーション科医師 徳田 智裕

リハビリテーション科医師として赴任いたしました徳田智裕と申します。東京大学病院リハビリテーション科専門研修プログラムで研修中です。患者さんがどんな生活を送りたいのか、ということを出発点に、医学的にどんなお手伝いができるのかを考え、適切なリハビリ処方をして参ります。院内外多くの職種の方と連携し、より良い診療が出来るよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

リハビリテーション科医師 森藤 彬仁

本年4月からリハビリテーション科に赴任いたしました。ひとりひとりの患者さんの状態や背景に合ったリハビリテーション医療を行っていきたく思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

副薬剤部長 船崎 秀樹

4月1日付で国立国際医療研究センター病院から副薬剤部長として参りました船崎秀樹と申します。前施設では治験管理室に所属し、新型コロナウイルス感染症に関して企業治験だけでなく、NIH（アメリカ国立衛生研究所）との国際共同医師主導治験に国内で唯一参加し、レムデシビルやバリシチニブが承認されました。また、新型コロナウイルス感染症の外来患者さんを対象とした治験実施体制を整え、モルヌピラビル等の経口治療薬の開発にも尽力してまいりました。東京病院の一員として、そういった経験を生かし、各部門の方々と協力し、患者さんによりよい医療が提供できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

作業療法士長 山根 裕也

4月1日付で高崎総合医療センターから配置換えとなりました山根裕也と申します。前施設では三次救急施設における急性期リハビリテーションの役割と地域医療支援病院として地域と連携して研修会参加、コロナ禍におけるリハビリテーション科の感染対策とコロナ患者さんへのリハビリ介入などに従事しておりました。今後当院では関係各部署と連携、協力し合いながらチーム医療を構築して、患者さん一人一人の生活に寄り添ったリハビリテーションの提供をしていきたいと考えております。今後ともよろしくお願ひいたします。

新任のご挨拶



専攻医 下園 真人

令和4年4月より内科専攻医として入職いたしました下園真人と申します。
金沢大学卒業後、東京都保健医療公社豊島病院で2年間初期研修を行いました。

本年度から本格的に呼吸器診療を学びはじめたため、至らない点も数多くあると思いますが、少しでも安全で質の高い医療が提供できるように日々精進して参ります。

ご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくおねがいします。



専攻医 戸田 嶺路

本年4月より呼吸器内科専攻医として入職いたしました戸田嶺路（とだみねみち）と申します。昨年度は自治医科大学附属さいたま医療センターで1年間内科研修を行っておりました。肺がん、結核、びまん性肺疾患など、呼吸器領域の幅広い分野の症例を経験し、より広く深い知識・技能を身に着けたいと考えております。

まだまだ経験の浅い領域も多く、未熟な部分も多いかとは思いますが、日々研鑽に励み、より良い医療を提供できるよう尽力いたしますので、ご指導のほど、よろしくお願いたします。



専攻医 吉永 忠嗣

今年度から呼吸器内科専攻医として入職いたしました吉永忠嗣と申します。昨年度はJCHO 東京山手メディカルセンターに勤務しておりました。結核などの感染症をはじめとし、様々な呼吸器疾患について多くのことを経験して勉強させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



**専攻医 安西 七海**

今年度より呼吸器内科専攻医として就職致しました内科レジデント3年目の安西七海と申します。昨年までは東邦大学医療センター大森病院にて内科研修を行っておりました。入局したタイミングからコロナウイルス感染症が流行し始めており、多々医療現場として負担が強られる日々かと思えます。抗酸菌診療を始めびまん性肺疾患や真菌感染、アレルギーや検査手技等、吸収し学びのある1年として過ごしていきたいと存じます。未熟者ではございますが何卒ご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

**専攻医 鹿子木 拓海**

東邦大学医療センター大森病院から呼吸器内科専攻医として赴任いたしました、鹿子木拓海と申します。今年度から一年間お世話になる予定です。大規模な結核病床を抱える東京病院ならではの疾患を経験して、様々な分野のエキスパートから知見を得て、学ばせていただければと存じます。過去にいた病院の地域柄と似ている部分もあり、経験を活かして本病院でも医療に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

**専攻医 小佐井 惟吹**

今年度より呼吸器内科専攻医として赴任しました、小佐井惟吹（コサイ イブキ）と申します。昨年度は多摩総合医療センターに勤務し、1年ぶりに戻ってまいりました。様々な方から「おかえりなさい。」と声をかけていただきこの病院の温かさを感じております。後期研修の総まとめの年でもあり、日々精進していく所存です。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

**専攻医 佐藤 怜**

4月から東京病院の呼吸器内科でお世話になります、佐藤怜と申します。慈恵医大で初期研修および後期研修2年間を行いました。東京病院では、結核、非結核性抗酸菌症、真菌症などの感染症を中心に呼吸器の様々な分野を学んでいきたいと思えます。より良い医療を患者さんに提供できるよう日々精進して参ります。よろしくお願いいたします。

**専攻医 千田 健太郎**

4月から呼吸器内科専攻医として東京病院に入職いたしました、千田健太郎と申します。東京慈恵会医科大学を卒業後、主に東京慈恵会医科大学附属第三病院で研修を積んでまいりました。まだまだ未熟者ではありますが、様々な患者さんの診療に関わりながら呼吸器内科医として成長していきたいと思っています。患者さんに寄り添った医療を提供できるよう精一杯頑張ります。短い間ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

**専攻医 新井 諒一**

本年4月より呼吸器内科でお世話になります内科専攻医の新井諒一と申します。昨年度は公立昭和病院の循環器内科で勤務しておりました。東京病院では肺高血圧症を中心に幅広く呼吸器疾患を学ばせて頂ければと思っております。半年間と短い間ではありますが、患者さんに寄り添った全人的な医療を提供できるよう努めて参りますのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

